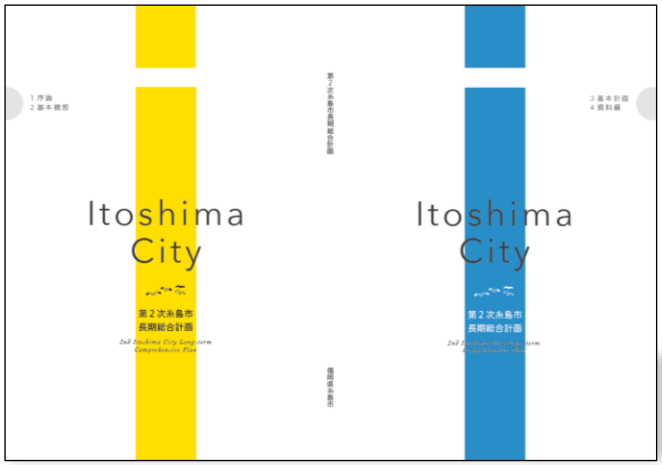
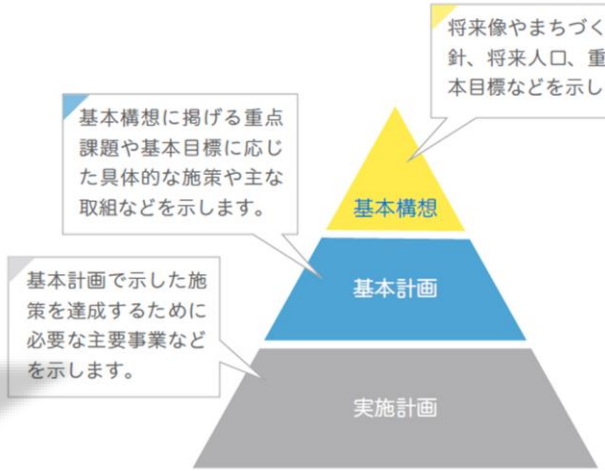
第２次糸島市長期総合計画後期基本計画
策定に向けた課題整理・分析

2024.6.16　第１回まちづくり市民委員会

長期総合計画とは　（構成と期間）

- 市の最上位計画（まちづくりを進めるための羅針盤）
- 計画に基づいて、政策・施策を展開
- 市民のみなさまと、まちづくりの方向性や将来像を共有

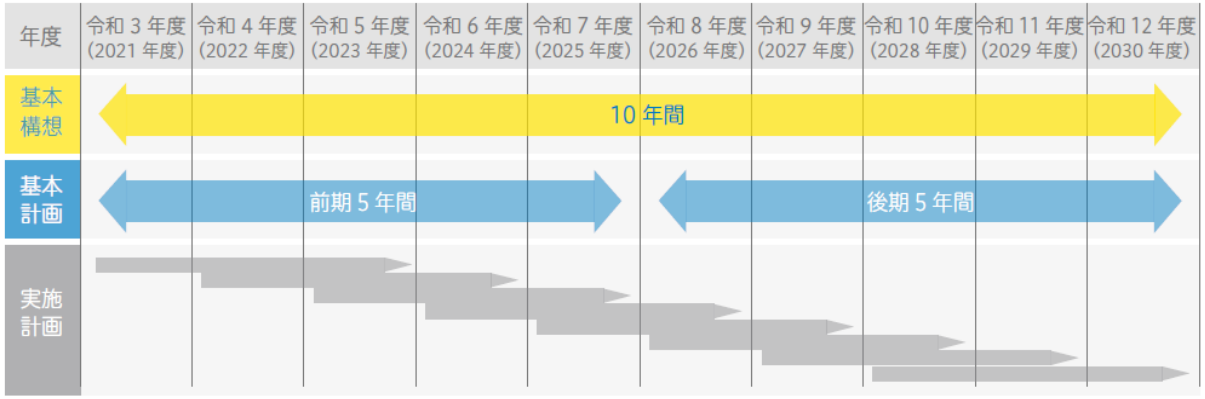




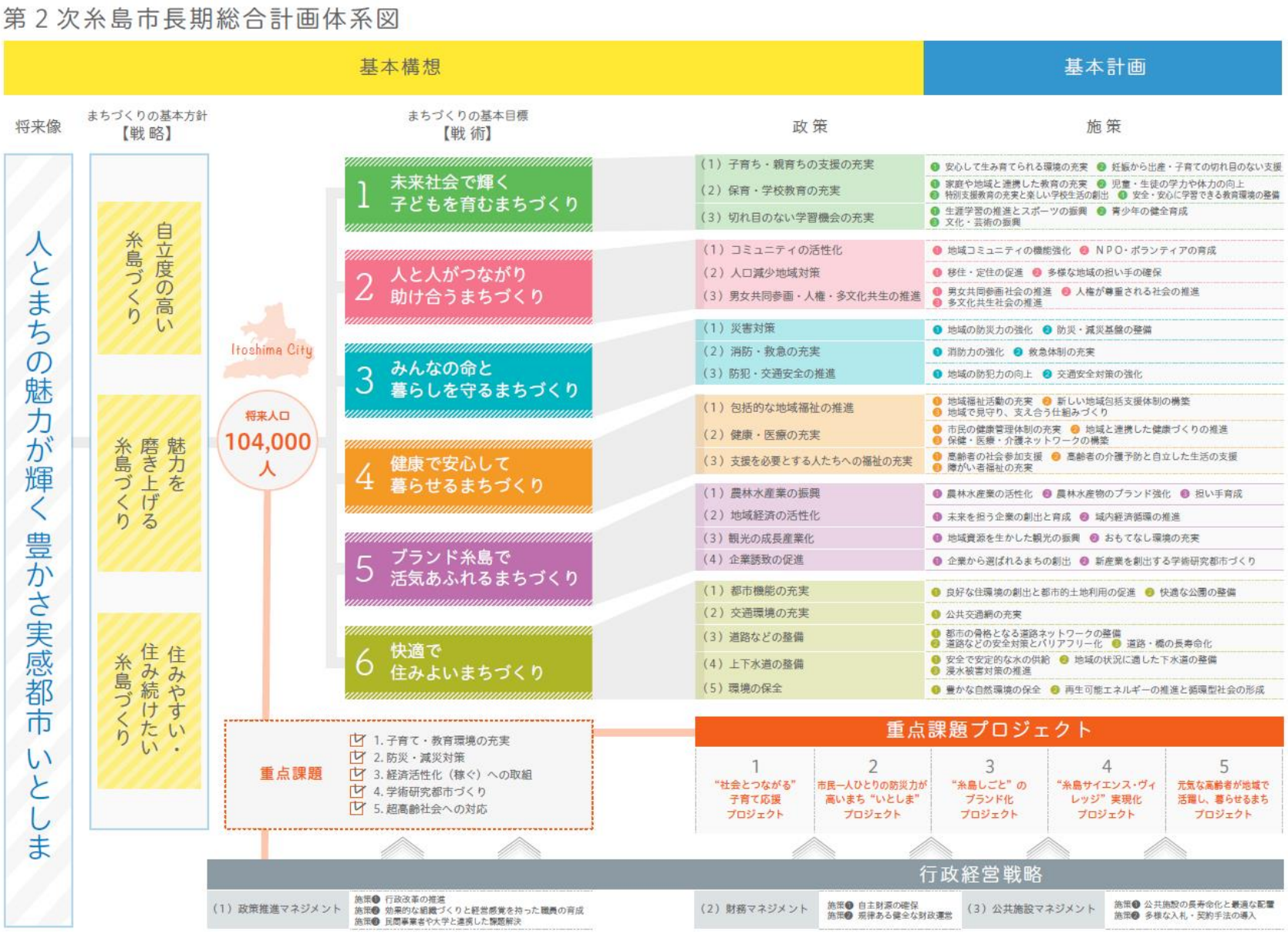
01

計画の構成

》長期的な視点に立ち、総合的・計画的にまちづくりを展開するとともに、めまぐるしく変化する社会・経済情勢などに対応していくため、基本構想、基本計画、実施計画の３層構造で構成するものとします。



長期総合計画とは　（計画の体系）



市民満足度調査の主な結果　（糸島での暮らしの満足度、愛着度、住みやすさ）

資料：P.1～3

設　問	回　答	備　考
糸島市での暮らし全般についての総合満足度	10点満点中 **6.59点**	前回調査※：6.73点 **0.14ポイント↘**
糸島市が好きですか（愛着度）	好き＋どちらかと言えば好き **94.0%**	前回調査※：91.1% **2.9ポイント↗**
糸島市は住みやすいと思いますか	住みやすい＋どちらかと言えば住みやすい **78.9%**	前回調査※：80.1% **1.2ポイント↘**

※ H30年度調査（現計画作成開始時点）

【参考】

- **令和４年度市民満足度調査の総合満足度は6.71点（0.12ポイント↘）**
- **令和２年度の福岡県幸福実感度は6.69点（0.10ポイント↘）**
- **糸島市は住みやすいと感じている人は多く、特に、18-29歳、30-39歳、40-49歳の子育て世代の割合が多い**

市民満足度調査の主な結果　（分野別の主な傾向）

【子育て環境】

- 「安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか」 ➡ 27.5%

➢ 分析結果から、「安心して子どもを生み育てられる環境」への満足度の向上には、保育所などのサービス充実に関する施策の効果が高い

【住みよいまちづくり】

- 公園、公共交通、市内での車移動、交通安全施設の充実について、いずれも充実していないと回答した割合が、充実していると回答した割合よりも高い

➢ 「快適で住みよい環境」「安全で安心な環境」を求められている

【地域における活動など】

- 「地域の安全は地域で守る」活動（青パト、夜間パトロール、交通立しょうなど）の参加傾向は、18-29歳、30-39歳の子育て世代の不参加の割合が高い

➢ 若い世代の「人と人とのつながりや助け合う環境」等の希薄化

市民満足度調査の主な結果　（その他の傾向と考察）

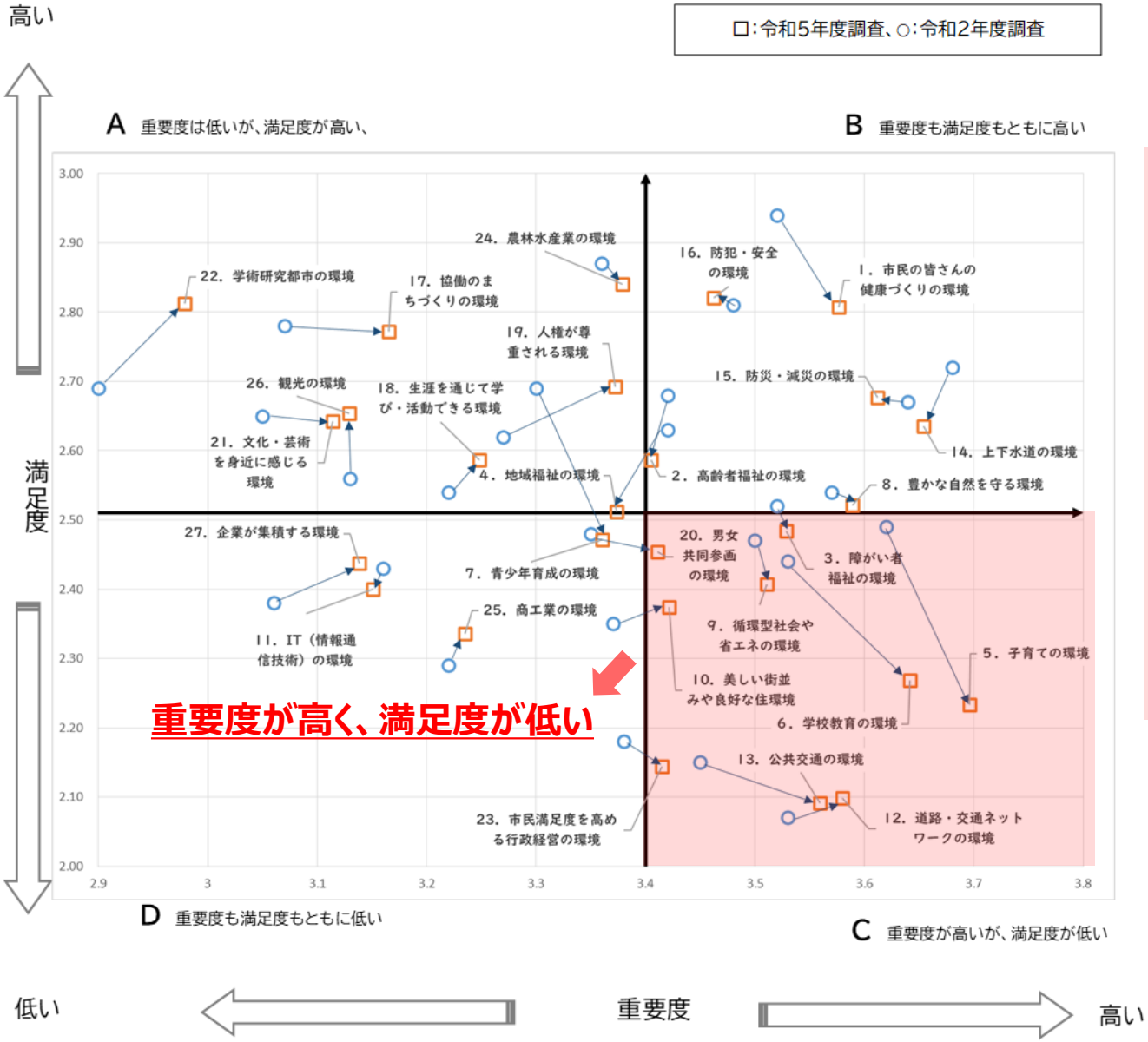
その他の傾向

- 地産地消を意識し、糸島産の農林水産物を購入している ➡ 61.2%
- 市役所は効率的に行政を運営しているか ➡ 10.8%
- 公共施設マネジメントの取組（公共施設の複合化、統廃合など）に対してどう思うか
  ➡ 61.8%（進めるべき）
- 公共施設の機能や環境は整っているか ➡ 29.2%

考　察

概ね糸島市への愛着や住みやすさなどについて満足度が高い傾向にある一方、「快適で住みよい環境」や「安全・安心な環境」について潜在的なニーズがある傾向があるため、それらの環境のさらなる充実に取り組んでいく必要がある

市民満足度調査の主な結果　（満足度・重要度散布図）



- 子育て
- 学校教育
- 道路・交通ネットワーク
- 公共交通
- 障がい者福祉
- 循環型社会・省エネ
- 良好な住環境
- 男女共同参画
- 行政経営

本市の主な現状　（社会潮流）

資料：P.7～9

【人口・世帯】

- 人口は微増傾向
- 生産年齢人口（15-64歳）は緩やかな減少傾向、年少人口（0-14歳）は微増
- 死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が継続
- 転出より転入が多い社会増の状態
- 世帯数は増加

【産業】

- 総就業人口は増加傾向
- 農業・林業では60歳以上の就業者が約６割を占め、他の業種と比較して多い
- 不動産業の総生産額が突出
- 農家数は減少傾向
- 観光入込客数は増加傾向

本市の主な現状　（社会潮流）

【生活環境・財政】

- 土地利用率は「山林」の割合が最も多く、次いで「田」の割合が高い
- 要介護認定者数や障がい者手帳所持者数は増加傾向
- 小中学校の児童数、学級数、教員数は増加
- 図書館の図書貸出冊数は減少傾向
- 財政指数において、経常収支比率※1は県内５位、実質収支※2は県内４位、実質公債比率※3は県内24位

※１：職員の給与、介護給付費や生活保護費、借金の返済など、毎年必ず必要な経費に、税や普通交付税などの自由に使える収入がどの程度費やされているかを示す数値

※２：決算収支を表すもので、実質的な黒字・赤字の額を示すもの

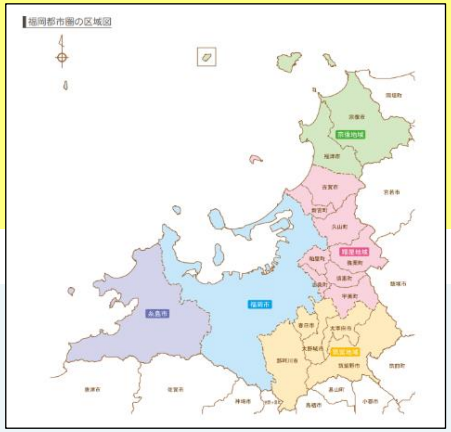
※３：標準的な収入に対する借金返済額の割合

福岡都市圏の中での糸島市　（主な強み・弱み）

資料：P.13～20

【 強み 】

- 社会増加率が17市町中、７番目に高い
- 0-2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち、妻の就業割合が17市町中、最も高い
- 農業産出額（農業就業人口一人当たり）が17市町中、最も多い
- 観光入込客数が17市町中、４番目に多い
- 持ち家率が17市町中、２番目に高い
- 市内で就業している人の割合が17市町中、２番目に高い



【 弱み 】

- 自然増加率が17市町中、最も低い
- 製造品出荷額等（従業者一人当たり）が17市町中、５番目に少ない
- 年間商品販売額（従業者一人当たり）が17市町中、最も少ない
- 空き家率が16市町中、３番目に高い
- 市民所得（人口一人当たり）が17市町中、４番目に少ない